

コンポストセンターいなばの廃止について

1 これまでの経過について

- 平成 24 年 6 月 ・ 処理水の不適切処理確認
- 平成 25 年 3 月 ・ 第 1 回汚泥処理方法のあり方等検討会
・ 汚泥等の公共下水処理について了解(国交省中国地方整備局協議)
 ※暫定期間～H28.3 までの 3 年間
- 平成 25 年 4 月～ ・ コンポストセンター休止(鳥取市公共下水道終末処理場で委託処理)
・ 因幡浄苑の汚泥処理設備等を休止
- 平成 27 年 5 月 ・ 第 4 回汚泥処理方法のあり方等検討会(方向性検討)

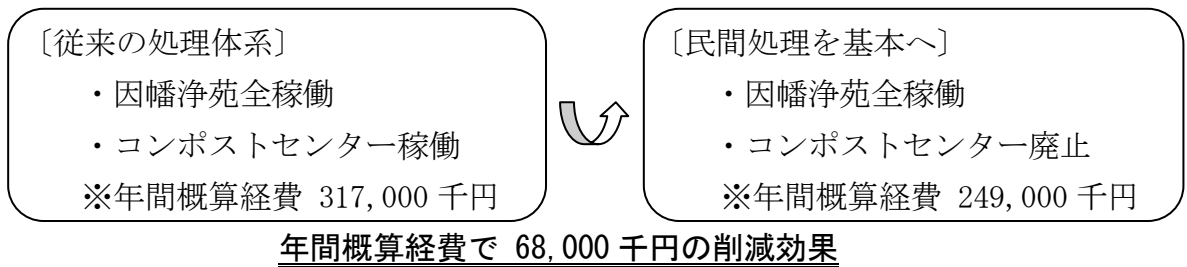
2 今後(平成 28 年度以降)の汚泥処理方法について

- コンポストセンターを再稼働するためには、有機質肥料中の重金属(銅)の増大及び排水中の窒素処理等の課題解消が必要であり、現実的には対応が困難な状況である。
- 平成 11 年の施設建設当時とは社会情勢等(汚泥堆肥化の民間参入)も変化していることから、コンポストセンターは廃止する方向で国・県等関係機関との協議を進める。

【参考】コンポストセンターの年間収支(平成 24 年度)

- ・ 維持管理費 約 96,000 千円
- ・ 製品(有機肥料)販売収入 約 2,000 千円

- コンポストセンター廃止後の汚泥処理は、処理コスト及び時間的制約等を踏まえ、民間での処理(リサイクル)を基本に検討を進める。



3 課題について

- 因幡浄苑・・・現在休止している汚泥処理設備等の再稼働が必須である
- コンポストセンター・・・廃止後における施設の活用検討
 廃止に伴い補助金返還等が生じた場合への対応 ほか



汚泥再生施設

コンポストセンターいなば

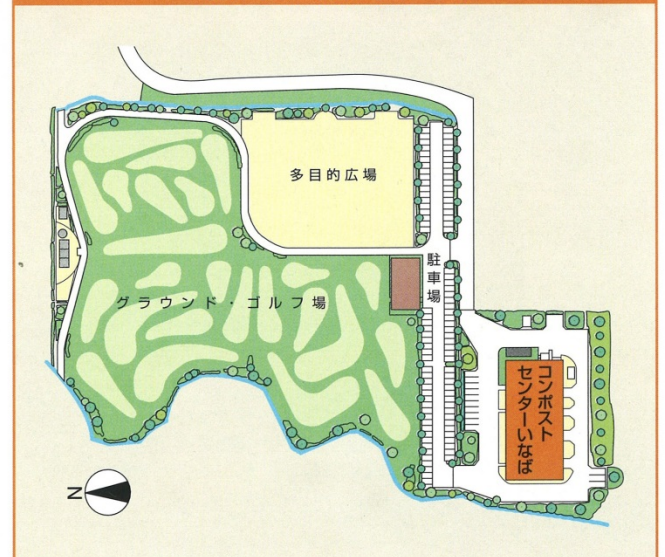
汚泥を肥料にして、社会生活に還元しています。



施設概要

- 建築面積 ● 1,448.82㎡
- 延床面積 ● 2,364.15㎡
- 着工 ● 平成9年10月
- 竣工 ● 平成11年5月
- 総事業費 ● 約18億円
- 処理対象物 ● し尿処理汚泥
集落排水汚泥
- 処理方式 ● 一次発酵…ロータリーキルン式
二次発酵…サイロ式
- 処理能力 ● 10.35t/日 (含水率75%)
- 製品量 ● 約3t/日 (含水率35%)

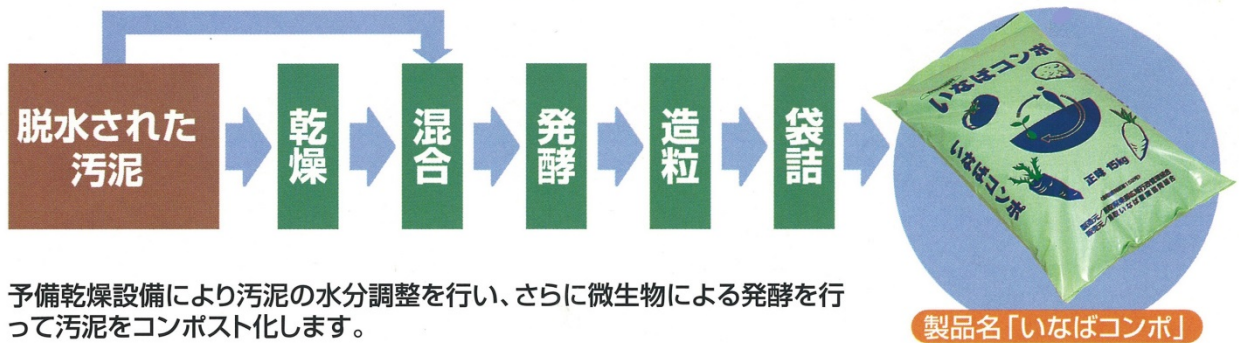
施設配置図



コンポストセンターいなばってどんなところ？

コンポストセンターって何してるんだらう？

し尿処理で発生する汚泥は、今までは、焼却し埋立てていましたが、適切な設備で発酵させることにより、肥料にすることができるのです。コンポストセンターでは、この汚泥を原料に、有機質肥料を生産しています。無用の廃棄物(汚泥)を有用な資源(肥料)に変換するリサイクルシステムを作り出しているのが、コンポストセンターなのです。



製品名「いなばコンボ」

汚泥を肥料にするとどうなるの？

汚泥をコンポスト化することにより、その肥料で農作物等を育てることができます。私たちがこの農作物を食べて、うんちやおしっこにすることにより、またし尿処理に送られます。このように、汚泥を肥料にすることで、資源循環の輪が出来上がるのです。



コンポスト化することでし尿が資源として循環するようになるんだよ。



【コンポストセンターいなばの現況】

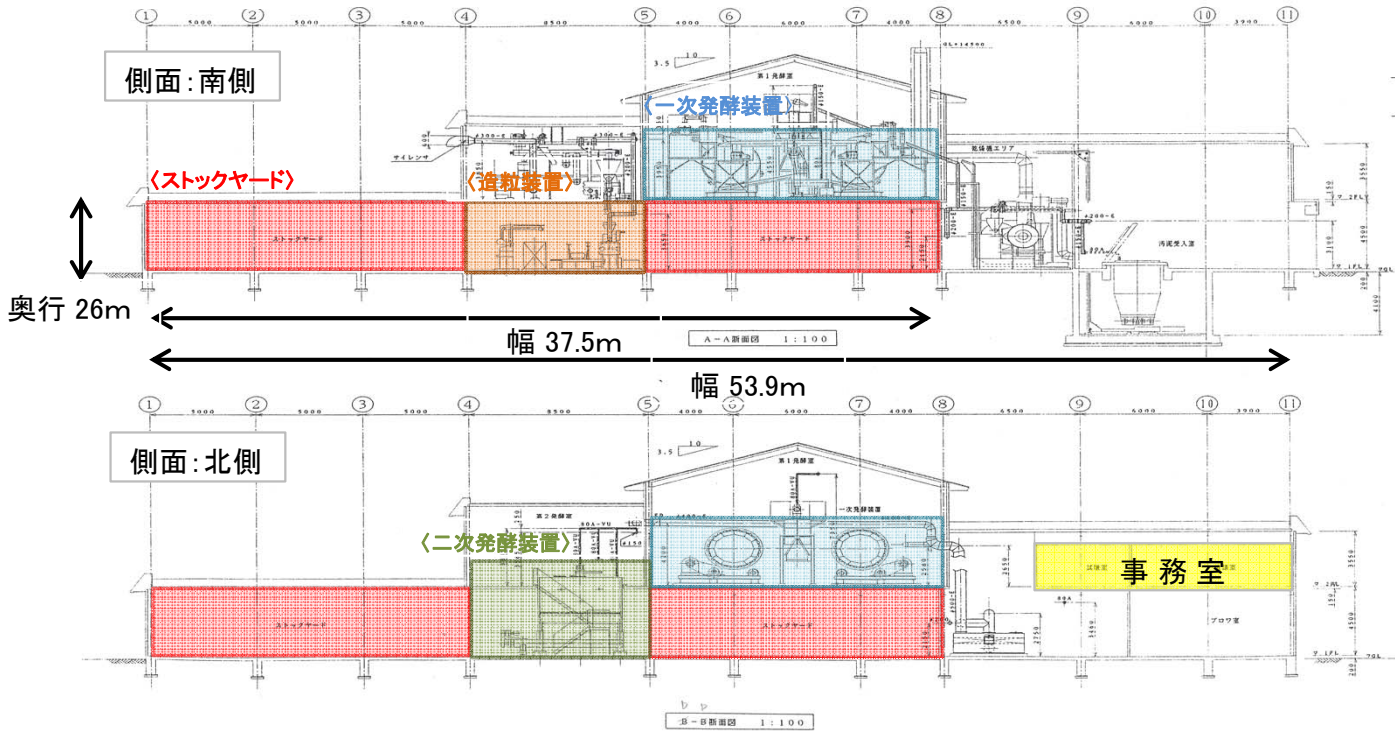
① <一次発酵装置>



② <二次発酵装置>



<断面図：側面>



③ <造粒装置>



④ <ストックヤード>

